

令和3年8月25日

加賀市議会議長 中谷 喜英 様

スマートシティ特別委員会
委員長 上 田 朋 和

スマートシティ特別委員会からの提言について

標記の件について、本委員会では加賀市が進めております、「スマートシティの取組について」を調査テーマとし、これまで調査・研究してまいりました。

このたび、執行部に対する下記の提言書を取りまとめましたので、この取り扱いについて、御配慮いただきますようお願いいたします。

記

1. 送付資料 スマートシティの取組に関する提言書

スマートシティの取組に関する提言書

近年の人口減少や少子高齢化に伴い、生産人口が減少し続ける一方で、自治体では、住民ニーズの多様化・高度化をはじめ、自然災害や新型コロナウイルス感染症など不測の事態への対応が求められており、急速に発展・普及しているデジタル技術を活用した働き方改革とスマートシティの推進は、人々が快適に暮らせるまちづくりのための重要な課題の一つとなっています。

現在、加賀市でもAIやIoT、ロボットなどの先端技術を社会実装することで、様々な地域課題を解決するとともに、新規事業の創出などを行うことで、市民生活の質の向上を図り、人口減少に歯止めをかけることを目的としてスマートシティの推進に取り組んでいます。

加賀市議会スマートシティ特別委員会では、こうした市の様々なスマートシティへの取組について、調査研究を進めてきました。

令和2年11月には、かが交流プラザさくらにおいて、アバター体験や3Dマップでのドローンシミュレーション体験、コンピュータクラブハウス加賀での取組を視察したほか、令和3年5月には、行政手続きの電子申請について体験会を開催し、行政サービスのデジタル化推進について調査するなど、さらなる取組の充実を図るための方策を研究してまいりました。

そこで今後は、加賀市が市民にとって、安心・安全で便利な社会となるスマートシティの実現を図るため、下記の事項について提言します。

記

1. スマートシティへの住民理解を深める取組として、加賀市が目指すスマートシティの将来像やそれに向けての施策が一目でわかる広報誌や動画などを作成し、市民への周知徹底を図る取組を積極的に行うこと。
2. マイナンバーカードの高い普及率や3Dマップの整備などの環境を生かした市民や企業に向けたサービスの拡充を図るとともに、人や企業が集まり交流しやすい環境や仕組みを構築するため、スタートアップ企業や高度人材等を受け入れるための環境を整備すること。
 - ・イノベーションセンターの拡張と機能強化
 - ・人口増加につながるためのe-加賀市民制度（加賀版e-Residency）の活用推進
 - ・公共交通の利便性向上の為のMaasの推進
 - ・スタートアップ企業や高度人材が集う居住区や商業区の整備
 - ・スマート農業の導入に対しての技術支援や体制の整備

3. 持続可能なまちづくりのため、デジタル化を進めるとともに、時代の変化に対応できる人材、デジタル技術を活用できる人材の育成と活用を進めること。併せて、障がい者等が就労に結びつく技術の取得に促進すること。
 - ・ 行政におけるデジタル人材の内製化及び外部人材の効果的な登用
 - ・ 市内企業における人材育成の支援
 - ・ 障がい者への技術取得支援と雇用促進

4. 電子申請等のデジタルサービスをさらに拡充させ、市民生活の質の向上を図るとともに、世代間の情報格差が生まれないよう、また、高齢者や障がい者が取り残されないような取組を推進すること。
 - ・ 電子申請の拡充と操作等の簡素化
 - ・ 高齢者向けのスマートフォンなどのデジタルデバイスの普及及び活用教育の推進

令和3年8月25日

加賀市議会 スマートシティ特別委員会